



「甲賀忍法帖」絆」 1月下旬に関東で 狙い撃ちに遭う

「新しいゴト手口が流行る直前にこのような不気味な静けさになる傾向がある」ということを前号でお伝えしましたが、心配していたことが現実になってしまいました。2012年以降、猛威を振るっていたA R T / A T機を狙ったセルゴトが2014年6月のエンターライズ「パチスロモンスターハタター月下雷鳴」を最後に新たな

被害機種が出なくなり、A R T / A T機を狙ったゴト手口は、メーカーの防護対策（ソフト面とハード面）などによってセルゴトから電磁波ゴトへ完全移行したものと思われていました。そんな中で、1月下旬に関東のホールでエレコ「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」を狙ったセルゴトが相次いで発生したとの情報が入りました。

被害情報によると、いずれの店舗でも実行役が「筐体左上部付近に手を伸ばしゴソゴソしていた」という状況や、被害に遭った遊技台の筐体左上部やパネル左側面部分

にセルを挿入した際に付いたと思われる痕跡が残されていたという過去のA R T / A T機を狙ったセルゴトの手口と同様の定番の挙動が確認されました。

基板などの防護強化で 無事に来ていたのに 対策が突破された

今回セルゴト被害に遭ったエレコ「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」は、過去のバジリスクシリーズがセルゴトなどの被害に遭ったことから、ハード面では製造段階から

対策カバーなどによりサブ基板やサブハーネス周辺の防護が強化されており、ソフト面ではセルゴトなどで通信ラインに強制的に情報を割り込ませる事案があればエラーが発生して遊技続行が不可能になるようにゴト対策プログラムが組まれているとのことでした。

それらのメーカー対策の実施により、2014年1月から導入が開始されて既にホールには1年以上も設置され続けている人気機種でありながら、これまでセルゴト被害に遭うこと無く来ていたのですが、今回残念ながらメーカー対策がハード面とソフト面の両方で突破されてしまったようです。

一切のエラー履歴なし しかし不審な人物が 当該機に仕掛けどおし

ある店舗で、異常な出方をしてきたエレコ「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」が気になった役職者が、閉店後にエラー情報履歴をチェックしたが一切のエラー履歴が残されていなかったため一旦は安心した。しかし念のために防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、

ゴトに勝つ 高石隆一

43

終わってはいないセルゴト
心配が現実に。厳しい対応を



筐体の左上辺りに手を伸ばしている様子

当該台周辺に着席した怪しい人物がナンバーランプのデータを長時間操作している不審な状況が映っており、当該台では筐体上部左側付近でゴソゴソしている挙動も見受けられたことからセルゴトによる被害に遭った可能性が高いという連絡が入りました。

その後、同一グループによる同様の手口があちこちで発生して被害に遭った多くの店舗でエラー情報履歴に一切のエラー履歴が残っていないという残念なケースが確認されています。

しかし、メーカー対策も完璧に突破されている訳では無いようで、

被害に遭った遊技機でCOMエラーが発生すると同時に遊技続行が不可能になってゴトの実行役と思われる人物が逃走したケースや、ゴト被害と思われる怪しい出方をした遊技台のエラー情報履歴を確認したら「COM ERR」「COM ALT」「BLS123PE」などというエラーが残っていたというケースもあり、メーカーの対策が効いているケースもあります。

新しく直接的な攻撃「サブ制御ロム」の足「サブ基板ハンダ部」

エレコ「バジリススク」甲賀忍法帖「絆」を狙ったセルゴトの手口に関して詳細は不明ですが、過去にセルゴトの被害が発生した「バジリススク」甲賀忍法帖「II」の犯行時の仕草とセル挿入痕跡箇所が同様のことから、今回の事例もセルと偽のレア小役情報を生成するゴト器具を併用し、不正にATおよびATの連チャンを誘発させるものと考えられます。

ただ、これまでと違うのは、これまではサブハーネス自体やサブハーネスのコネクタ部分をセルで狙

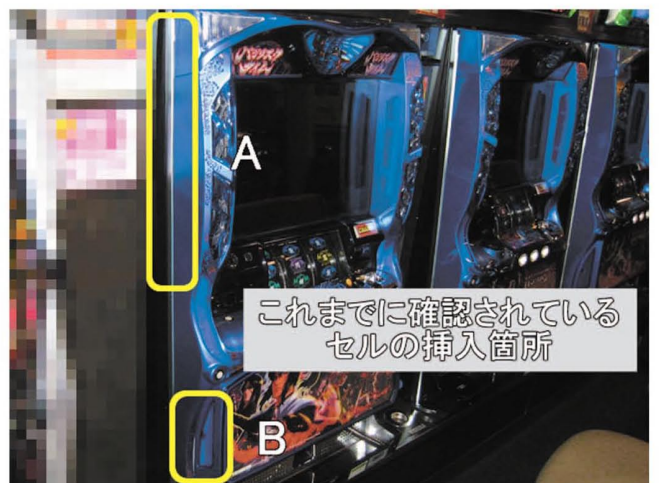
っていたものが、今回の被害台の傷跡から推測する限りではサブ制御ロムの足もしくはサブ制御ロムが設置されているサブ基板ハンダ部を直接狙っていたようなのです。

そして、これまでに被害に遭った遊技台は、筐体左上部付近からサブ基板上側の通気口を通じてサブ基板内及びサブ制御ロムを狙うパターンと、筐体左側面からサブ基板下側の通気口を通じてサブ基板内及びサブ制御ロムを狙うパターンのどちらかでゴト被害に遭っていることがセル挿入の傷跡から判明しております。

敢えて強引にセルゴト時代に逆行と見えるが常に手口を進化させる

ゴト器具を押収して検証した訳ではないので私の勝手な推測になりますが、このサブ制御ロムを直接狙うという手法により、COMエラーなどが発生しないでゴト被害に遭うという現象が起きている可能性が高いのではないかと考えております。

COMエラーとは、主基板とサブ基板をつなぐ配線についての電



これまでに確認されているセルの挿入箇所

気系統トラブル時に発生するエラーのことで、サブ制御ロムにセルを使って直接偽のレア小役成立情報を送り込むのであればCOMエラーの対象にならないのかもしれませんが、セルゴトは、遊技台が閉まったままの状態でも強引に隙間を作って、その隙間から針金やピアノ線状のセルをゴト器具として挿入し、狙ったコネクタやハンダ部やサブ制御ロムの足に接触させて偽のレア小役成立情報を送り込むというものです。

しかし、当然遊技台が閉まったままの状態では作業しなければならぬので、なかなか狙った箇所へ上手くセルが到達せずに、実行役

が意図しないCOMエラーが発生するのかもしれない。ART/A T機を狙ったゴト手口が、セルから電磁波へ進化し移行したものがわざわざセルに退化したようにも思われますが、ゴトグループは粘り強くメーカーの対策を突破する方法を研究してきているのです。

ゴト手口への対策として、ハード面ではメーカー対策のサポートとしてプラ板などで防護することをお勧めいたします。

今回のこのゴト手口への対策として、ハード面ではメーカー対策のサポートとしてプラ板などで防護することをお勧めいたします。サブ基板の上下の通気口からセルをサブ基板内へ侵入させるといふ手口ですので、単純にサブ基板の上下の通気口を防護するプラ板などの設置で現在の手口に対する防護は完了します。

既に多くのセキュリティ会社から対策部品が販売されておりますが、防護は簡単なので自社で作

成することも可能です。

しかし、購入する場合も自社で作成して防護する場合のどちらでも、遊技台に何らかの物を付加するのであれば、あらかじめ各都道府県公安委員会から許可を受けたもの以外の付加は認められないので注意が必要です。

たとえば、ゴト被害から自店の遊技機を守るためだとしても、許可を得ずに勝手に付加することや付加した後に所轄へ変更届を出すことを忘れていたのでは、無承認の構造変更に該当することになりま

一にしてください。

不自然な足止めには躊躇せず「ほうれんそう」の適用

続いてソフト面の対応として、ホールスタッフのゴト対応オペレーションの見直しと徹底です。最近のゴトは実に巧妙化していて発見が難しい状況になっております。大きい被害を防ぐために、ホールスタッフがコース巡回時に注意するポイントの一番目として、異常な連チャンや異常な出玉を意識することです。

特にゴト被害が発生している遊技機において、見慣れない人物が遊技し大量の出玉を所持している場合には注意しなければなりません。そして、コース巡回時に注意するポイントの二番目として、キャッチ行為の疑いのある不自然な足止め行為等に警戒してください。

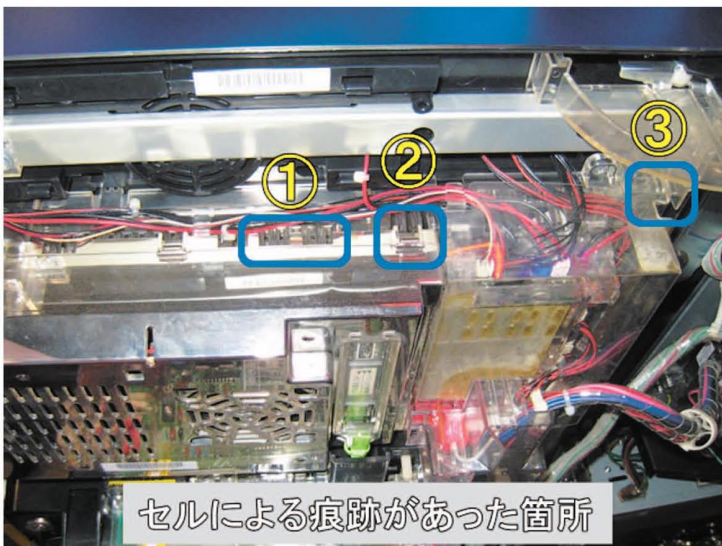
見慣れないお客様からの「おしぼりや遊技説明書の要求」、「遊技機清掃依頼」や「不自然なセレクタ詰まり

の解消依頼」などの怪しい遊技機故障の発生や意味不明な質問攻めによる不自然な足止め行為などは、犯行現場にホールスタッフを近寄らせないために、ゴトグループが仕掛けてくるキャッチ行為の場合があります。

これらの事案の疑いがあると感じたら、間違っても良いので報告・連絡・相談というビジネスマナー「ほうれんそう」を素早く実施することを徹底させてください。間違いかどうかということは、この「ほうれんそう」を受けた役職者が防犯カメラの録画映像をチェックして判断すれば良いことなので、まずは「ちよつとも怪しい」とか「ちよつとも気になる」ということが発生した時に、素早くホールスタッフからの「ほうれんそう」があるかどうかが大変なポイントになるのです。

分業になった手口 当該者より一人前の人物を必ずチェック

そして、ホールスタッフから「ほうれんそう」を受けた役職者の方は、防犯カメラの録画映像チェ



セルによる痕跡があった箇所

ックを実施してください。異常な連チャンや怪しい出方をしているとの「ほうれんそう」を受けて録画映像をチェックしてみると、現遊技者が着席してすぐにART/A Tなどのボーナスに突入しているケースを目撃することがあります。

このケースであれば、ゴトの実行役は前遊技者である可能性がとても高くなります。そして、ここ数年のゴトグループの手口は、このように実行役と打ち子を分業制にすることで、ゴトの発覚や逮捕を逃れるようなオペレーションで犯行を繰り返しているのです。

これらのことから、防犯カメラの録画映像チェックをする際に注意しなければいけないことは、現遊技者の前に遊技していた人物までさかのぼってチェックすることが重要です。現遊技者は、既にゴト行為が終わってART/A Tが大量に上乘せされた状態になっているゴト被害台のゲームを消化しているだけの打ち子である可能性が高く、それを見極めるためにも、現遊技者がART/A Tに突入したタイミングの前までさかのぼってチェックすることが必要になるのです。

遊技をしていないのに、枠ランプが発光するこの現象も見破れ

また、録画映像のチェックをするポイントとして、実行役と思われる人物が筐体左側上部付近などのいずれかの箇所でもゴソゴソしている状況や、壁役と思われる人物が被害台を隠していたりナンパランプにずっと手を置いていたり(手を上げていたり)している状況キヤッチ役と思われる人物にホルスタッフが足止めされている状況などに注意してください。

一見普通に遊技しているように見えても、注視してチェックすると実際には遊技しているフリをしているだけで、それにもかかわらず遊技台の枠ランプ(装飾ランプ)が激しく点灯しているケースもあります。

実際に、過去に発生したサミー「パチスロ化物語」の電磁波ゴトのケースでは、被害台を映していた防犯カメラの映像が遠目からのアングルにもかかわらず、レバーやボタン操作をおこなっていないという遊技しているフリだったとい

うことが確認でき、その状態で枠ランプがめまぐるしく発光し演出が続発している状況が確認できて、ゴト被害の確認を得たことから交換を拒否して実害無く済んだということがありました。

「忍法帖」では、エラー履歴の閲覧が大きく改善されている

今回の手口でゴト被害にあった場合、上手くやられた場合はエラーが発生しないようだとお伝えしましたが、エラー情報履歴のチェックは重要ですので設置店舗におかれましては閉店後のチェックは必須事項として、怪しい出方や気になる場合は営業中のチェックを実施してください。

エラー情報履歴の確認方法に関して、以前の遊技機では設定キーが必要で営業中にエラー情報履歴を確認するには現在の設定情報が必要で表示されるという手順を踏まなければならないと、「著しく射幸心をそそる行為」に該当して風適法の違反に問われる可能性があります。

エラー情報履歴の閲覧方法の改

善に関して、過去に何度もこの連載をお願いしてきましたが、この点は「バジリスク」甲賀忍法帖「絆」では大きく改善されております。せっかくある便利な機能が活用しやすくなったということは、大変ありがたいことですのでゴト対策オペレーションに組み込んでください。

■高石隆 ■たかいしりゅういち
警備会社の指導員、セキユリティー会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキユリテイサービス設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。また、パチンコ産業界のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期会が座右の銘。

